



## ◆腸閉塞

### ●腸閉塞とはどんな病気

口から摂取した飲食物は、胃、小腸、大腸を通過して消化・吸収され、便となって肛門から排泄されます。また、唾液や胃液をはじめとする消化液が、1日数回も胃腸のなかに分泌されますが、これも小腸や大腸で吸収されて残りは便とともに排泄されます。これらの食べ物や消化液の流れが小腸や大腸で滞った状態、すなわち内容物が腸に詰まった状態が腸閉塞です。腸が拡張して張ってくるため、おなかがか張って痛くなり、肛門の方向へ進めなくなった腸の内容物が口の方向に逆流して吐き気を催し、嘔吐したりします。腸閉塞は、吐き気・嘔吐を伴う腹痛が現れる最も代表的で一般的な病気です。

### ●症状の現れ方

突然、激しい腹痛と吐き気・嘔吐が起こります。おなかがか張り、やせた人では腸がむくむくと動くのが、おなかの外から見えることもあります。多くの場合、腸が詰まった瞬間に突然発症します。腹痛は、きりきりと強い痛みが起こり、しばらくすると少し和らぎ、これを繰り返す発作が起こります。嘔吐の直後は、いったん腹痛や吐き気が軽くなることも多いようです。腸間膜も圧迫されたり、ねじれたりする絞扼性腸閉塞では、激しい腹痛が休まることはなく、時間とともに顔面蒼白、冷汗、冷感もみられ、脈や呼吸も弱く速くなり、ショック状態になります。

### ●治療の方法

絞扼性腸閉塞でなければ、ほとんどは手術以外の方法（保存的治療）で治ります。食事や飲水を中止し、胃腸を休め、十分な補液を行います。病状が進行して、腸の張りが強くなった場合は、鼻から胃や腸まで管を入れ、嘔吐のもととなる胃や腸の内容物を体の外に汲み上げます。腸の張りが少なくなれば、腸から吸収され快方に向かいます。おならや便が出れば、腸の通過障害は一応治ったことになりませんが、腸が詰まった原因、つまり癒着や腸がはまり込んだおなかのくぼみは治らないため、再発の危険は残ります。

手術的治療は、おなかを切ることで新しい癒着をつくることになり、腸閉塞にいつそうなりやすくしてしまうため、避けるのが一般的です。手術が必要な場合は、腸の血管が圧迫されたり、ねじれたりする絞扼性腸閉塞や、保存的治療を1週間以上続けてもよくならない場合、何度も腸閉塞を繰り返す場合などです。

### ●検査と診断

X線、超音波、CT検査を行います。腸だけでなく、腸間膜も圧迫されたり、ねじれたりする絞扼性腸閉塞と区別することが大切ですが、この区別は時に困難です。絞扼性腸閉塞が疑われ、その疑いが晴れなければ、手術に踏み切ります。

### ■腸閉塞に気づいたらどうする

自然に治ることはないので、早めに病院の外科を受診する必要があります。がまんして様子を見て、夜間や休日になってから病院を受診しても、適切な治療を受けられないこともあります。症状が激しければ救急車を要請します。



【回答】穴埋め漢字・①火 ②良 ③食 ④朝 ⑤目 クロスワード・カイスイヨク

人と、ひとが心から。



さくら・介護ステーションとやま南

富山市掛尾町249 スペースイン掛尾3F

TEL076-481-6239

FAX076-481-6246

